

ゆきどけ

ふりつ積もった雪が、はるのとうらいによってと融けていくように、わたしひとり
こころとあが心が融け合い、ぬくもりを感じるができるまちであってほしい。

ゆきどけのタイトルには、そんなおもいがこめられています。

せかい たよう
世界は多様で、_____。

ひこねし く かつどう がいこくじん き
彦根市で暮らしている、活動している外国人に聞いてみました。

ひこねし く かつどう
「彦根市で暮らして(活動して)よかったこと、

こま
困っていることはありますか？」

いろいろな^{くに}国があつて、人種^{じんしゆ}も様々^{さまざま}。

髪^{かみ}の色も肌^{いろ}の色も、文化^{ぶんか}も習慣^{しゅうかん}も色とりどり。

生まれる場所^うも育つた場所^{ぼしよ}も人^{そだ}それぞれ^{ぼしよ}。

住むところ^すも人^{ひと}それぞれ。

私^{わたし}自身^{じしん}を知^しつてほしい。

この広い^{ひろ}世界^{せかい}で、たくさん^{ひと}の人が生きて^いいる。

いろいろな^{ぶんか}文化^{ぶんか}があつて、いろいろな^{ことば}言葉^{ことば}を話^{はな}して、

いろいろな^{こせい}個性^{こせい}をもつて生きて^いいる。

みんな^{おな}同じ^{おな}はつまらない。

世界^{せかい}は多様^{たよう}で、美しい^{うつく}。



め みが 見え ない、みみ きが 聞こえ ない、じりき ある で 歩け ない。

しょうがい がある ひと が いる。

み め 見た 目 では わか ら ない しょうがい 障 害 も ある。

だんせい が いて、じょせい 女 性 が いる。

か ら だ の せい と こころ の せい が ちが っ た ひと も いる。

い せい す が 好き と は 限 ら ない ひと も いる。

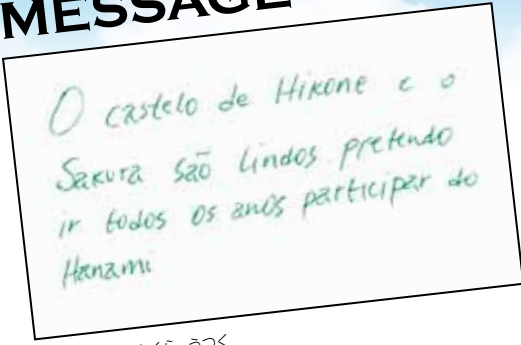
おと な の せ ゐ を 見 て せい ちやう こ 成 長 す る こ ども。

こ れ か ら の み ら い を つ く る わ か も の 若 者。

い ま の よ な か を つ く っ て き た こう れ い しや 高 齢 者。

ひと は ねん れ い を か ざ を 重 ね て い く。

MESSAGE



彦根城と桜は美しい。毎年花見に参加するつもりです。



ブラジルから来た カタヤマケンジさん

彦根市でカポエイラの教室を開いています。カポエイラは昔、ブラジルの奴隷達が、音楽とダンスでカモフラージュして行っていた格闘技がもとになった、伝統的スポーツです。子どもの頃にブラジルで友人と真似て遊んでいたことがきっかけで、大人になって本格的に習い、インスタクターになりました。

幡市の教室に来た彦根市のスタジオオ経営者と出会い、「ぜひ彦根市でしよう。」と始めたのが彦根市での教室開講のきっかけです。

彦根市でのカポエイラメンバーと知り合い、それまで彦根城の存在を知りませんでした。今では城下で一緒に花見をするようになりました。友人が増え、活動の幅が広がりました。彦根は桜がきれいなので、春が好きです。花見をしながら友人たちとカポエイラをしたら楽しそうですね。

ただ、冬は困ります。彦根市は雪が積もります。ブラジルではめったに雪が降りませんから、降ればお金持ちなら長距離を移動して見に行く人がいるくらいです。しかし実際に雪が降る所に住むとつらいです。

ブラジルでは学校が早く終わります。空いた時間に子どもが非行に走らないよう、子どもに無料でカポエイラを教えているところがあります。また、体の不自由な人もカポエイラをします。お金をかける必要が



アメリカから来た サミュエル・ンレンソンさん

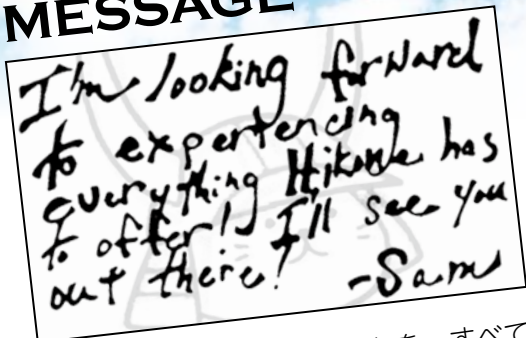
6年前に長浜市にA-LT（英語指導助手）として赴任し、4年間勤めました。A-LTも楽しかったのですが、自身のスキルアップのため、日中は大阪で英語を教え、夜は大学院へ通いました。

ミシガン州立大学連合日本センターには以前から興味がありました。最初は、パートとして土曜日だけ英語を教えていましたが、修士号取得後は、フルタイムとして働いています。センターに来る方々は、大変勉強熱心です。ほぼ毎週交流イベントを開催しているのですが、国籍を問わず誰でも参加していただけるので、人気があります。私は、ミネソタ州出身ですが、



滋賀県には湖があり、雪が降り、自然環境が私の故郷と似ているなと思います。友人とバーベキューをしたり、泳ぐこともあり、松原水泳場は、私のお気に入りの場所の一つです。日本の地方には、自然や歴史、文化などの素晴らしいものがたくさんあります。私は人見知りをするタイプですが、彦根市はアットホームなところですので、気軽に地元の方々

MESSAGE



彦根でしか経験できないことを、すべて体験してみたいです! 皆さんに会えるのを楽しみにしています!



平成18年に大津市に來日し、帰国後、再来日しました。彦根市には3年前に來ました。



フィリピンから来た
アンジェラさん

と交流ができ、皆さんや友人から歴史や日本料理を教えてもらうことができ喜んでいきます。困っていることを挙げるとすれば、彦根市独自の素晴らしさを、どこで、どうやって見つけることができるのか、わかりにくいことです。地元イベントの詳細情報があれば、もっと助かります。海外から彦根に来る方もイベント等の具体的な内容がわかれば、もっと興味を持って、それに参加したくなると思います。また、バスなどの公共交通機関がもっと便利になれば、もっと外国人やお寄りも住みやすくなると思います。今後もっと彦根市を楽しみたいです。

現在は彦根市で主にフィリピン人の外国人児童生徒主任指導員をしています。多くのフィリピン人はタガログ語と英語交じりで話しますが、中には英語のみの人もいます。また、セブ島とダバオ島から来た人はビサヤ語を話す人もいます。日本の方言のように地方によって話す言葉が異なり、同じフィリピン出身者でも、私が知らない言語を話す人もいます。話す人の家庭環境と学校により、言葉は決まりますね。彦根市に住んで、人が優しいと感じました。近所の人も挨拶してください。旅行である都市に行きましたが、そこでは冷たい対応でした。彦根市ではお店の店員さんが快く声をかけてくれます。そして自然があつて、都市に比べると空気がきれいで環境がいいです。暮らしやすいです。琵琶湖と彦根城が好きで、季節ごとに写真を撮りに行きます。琵琶湖は私にとって最も美しい風景です。環境、歴史、まちがそれぞれあるこ

MESSAGE



国際的な友情と善意。

とがいいですね。あと、ひこにゃんも大好きです。困っていることはありません。強いて言うなら、冬が寒くて雪が多いくらいです。フィリピンでは雪は降りません。でも、自然のことなので仕方がないことです。今は大津市で英語サークルのボランティアをしています。彦根市に英語サークルがないか探しています。日本人や様々な国の人々との交流がしたいです。今は英語サークルにいますが、英語以外の言葉を話す人々とも交流を深めたいと考えています。

ナターリヤの部屋 「言葉の力」



子どものころから、言葉にはものすごい力があると感じており、母国語のポルトガル語だけでなく、英語や日本語等も勉強しました。

古代日本では言葉に宿っている不思議な力があると信じられていて、それが「言霊」ということを初めて知ったときは、とても共感しました。日本人は昔から言葉の力がよく分かっていた素敵だと思ひ、感激しました。

現在、「ハイトスピーチ」は外国でも日本でも一つの社会問題になっています。人には自由に話す権利がありますので、「ハイトスピーチ」と思われている発言には全く問題がないと考えている人もいます。しかし、「ハイトスピーチ」をする事で、他人に恐怖を感じさせたり、精神的に害を与えたりすることがありますので、人権を侵害する行為になります。言葉は体に傷をつけることはできなくて、その使い方によってはどんなに強

い「武器」になるか、「言霊」の文化を持つ日本では昔からよく知られていると思ひます。

もちろん、コミュニケーションはとも複雑なので、悪気がなくても相手を傷つける言葉を使ってしまうことは誰にでもあります。しかし、コミュニケーションにでもありません。しかし、コミュニケーションは相手と協力しながら生まれてくるものなので、自分が使っている言葉が相手に少しでも違和感を覚えさせたら、その使い方を直すべきでしょう。人間は他人の協力がないと生きられません。相手のことを考えて話すという事は、単なる「思いやり」だけではなく、社会に対して「責任を持つ」ことではないかと思ひます。

日本では結婚式に行く時、「切る」や「割れる」という言葉等を使つてはいけないという文化があります。「人の不幸を呼ぶ言葉を使わない」という意志は、日本文化の一つではないかと思ひます。この素敵な文化を持ち、言葉の力をよく知っている日本だからこそ、「ハイトスピーチ」を見逃さないでほしいです。

彦根市国際交流員 ナターリヤ

ハイトスピーチ対策法とは？

この法律の正式名称は『本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律』といます。平成28年6月3日に施行されました。「ハイトスピーチ対策法」は通称のようなものです。

日本でない国の出身者、子孫を「本邦外出身者」といいます。その人々に対して差別的意識を持つたり、差別を助長したり誘発する目的で、公然と生命、身体、自由、名誉や財産に危害を加えることを告知するなどの差別的発言を防止する法律です。簡単に言えば、本邦外出身者自身やその人が所有する権利を公然と害するような言動はしてはならないということです。

出身国で人を差別し、何を言っても、おこなってもいいわけはありませんね。

彦根市多文化共生推進プラン

地方自治体には、ハイトスピーチがなくなるような施策、教育を行いなさいと国から通達がありました。しかし、「差別をしない」だけではなく、いろいろな国々の人々と、もっと素敵な彦根市を作りたいという思いから、市は「彦根市多文化共生推進プラン」を作りました。

このプランは「市民一人ひとりがお互いの立場や文化的背景を認め、対等な関係で支えあう地域づくり」を目的としています。

国際化が進む地域社会の一員として、外国人住民の社会的参画を促進し、すべての人が暮らしやすい彦根市を創っていきましょう。

多文化共生とは、たくさんの文化を持つ人々と協力して生活することです。

詩「ぬりつぶす」

灰色はいいろしたお月つきさま 月つきは黄色きいろく光ひかるから 黄色きいろにぬりつぶした

かじられた青りんごあお りんごは丸まるくて赤あかいから 赤あかくぬりつぶした

緑色みどりいろのお花はな この花はなはおかしいね 緑色みどりいろは葉はっぱの色いろ

まわりのお花はなと同じおなが正ただしい ピンク色いろにぬりつぶした

「あたりまえ」

「あたりまえ」

そう思おもっていたけれど

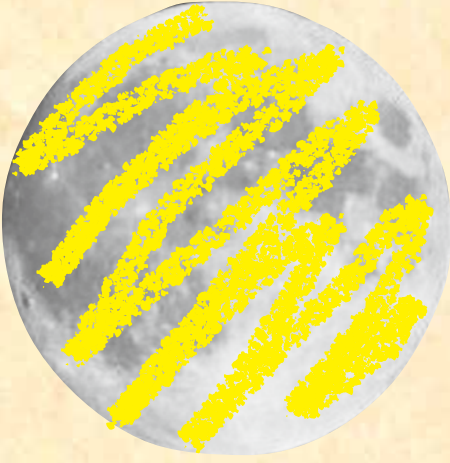
ぬりつぶされたのは私わたしだった

「あたりまえ」にぬりつぶされた この私わたし

灰色はいいろしたお月つき様さま、かじられた青りんごあお、緑色みどりいろのお花はな

それが素敵すてきだと、美うつくしいと気きづいたのは

「あたりまえ」をぬぐい取とった、「ありのまま」の私わたしだった



はーとふるメッセージ 2016



ポスター小学生の部 特選
城陽小学校2年 寺村海南さん



ポスター小学生の部 特選
いなえひがししょうがっこう2年 南友理奈さん

小中学生の特選標語

【小学生の部】

さようなら えがおであいさつ またあした
ひびきあう ちがう個性の ハーモニー

かめやまししょうがっこう2年 田中 心実さん
かわせしょうがっこう6年 所 晴生さん

【中学生の部】

君の手が どんな言葉より あたたかい
て 手をつなごう 人の力は 無限大

みなみちゅうがっこう2年 奥井 彩音さん
ひこねちゅうがっこう2年 杉本 みなみさん



ポスター小学生の部 特選
じょうなんしょうがっこう4年 堀田 真瑚さん



ポスター小学生の部 特選
かわせしょうがっこう5年 若松 匠夢さん

はーとふるメッセージとは

毎年7月～12月の間に、彦根市に在住、在学、在勤されている方を対象に、人権をテーマにした作品を募集しています。作文部門、標語部門、ポスター部門の3部門があり、毎年多くの応募をいただいています。受賞した作品は、パネルとして貸し出しも行っていきます。

なお、冊子に掲載しているポスターや標語の学校名と学年は、応募当時のものです。

この冊子は15,000部印刷し、一部あたりの単価は9.9円です。ただし、原稿作成等にかかる職員の人件費は含んでいません。
発行：2017年3月 彦根市人権政策課